

「茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画（素案）」についての パブリックコメント実施結果

—ご協力ありがとうございました。—

1 募集期間 平成28年 9月26日（月）～ 平成28年10月25日（火）

2 意見の件数 15件

3 意見提出者数 6人

4 意見提出者年齢

年代	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
人数	人	人	人	人	人	人	6人	人

5 内容別の意見件数

※	項目	
—	■下水道事業全般に関する意見	9件
39-40 75-76	■茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画（素案）に記述された個別の内容に関する意見	2件
	□4. 維持管理方針の設定	1件
	□8. 事業計画に関する意見	1件
—	■パブリックコメントに関する意見	1件
—	■その他の意見	3件
	合計	15件

※「茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画」の項目番号

修正を加えた項目はありません

茅ヶ崎市下水道河川部下水道河川管理課公共下水道担当
0467-82-1111（内線 1373～1374）
e-mail: gesuikanri@city.chigasaki.kanagawa.jp

(意見及び市の考え方)

■下水道事業全般に関する意見（9件）

(意見1)

下水道は市民の日常生活においてあまり目立たない存在ではありますが、下水道は家事やトイレにおいても、日常生活になくてはならない必需品だと思います。下水道がなくては市民の日常生活に混乱を起こすことになると思います。市民はこの下水道の必要性、重要性を再認識する必要があるのではないかと思います。

(意見2)

先に述べましたが、下水道はあまり市民に認識されていませんが、しかし市民の日常生活にはなくてはならないものです。そのために、市民に下水道の必要性・重要性を再認識してもらう必要があるのではないのでしょうか。

(意見3)

下水道設備は、上水道設備と同様に人々が生活する上で、かかすことのできない設備だと考えております。また、これらの設備は、良条件で運用され、また、維持管理されることが必要だと思っています。また、下水道を取り巻く設備も良い条件で管理されていることが望ましいことだと考えております。

重要な設備でありながら、ないがしろにされる可能性があると思われまます。市民が充分理解でき、協力出来ることをPRを日ごろから行うことが必要かと思われまます。

(市の考え方)

下水道施設の多くは、地下等の目にふれない場所にあることから市民の下水道事業に対する関心はあまり高いとはいえません。しかし、下水道は市民生活を支えるライフラインの一つとして重要性の高い施設と考えており、その重要性を認識してもらうため、これまでも「春の市民まつり」や「下水道ふれあいまつり」等のイベント参加を通じて広報活動を実施しており、今後も様々な機会を通じて、広報活動を実施していきます。

(意見4)

最近、地震や台風等による災害が多発しております。この地震や台風の被害による下水道の破損が発生しております。下水道が破損し、使用出来なくなると、市民の日常生活に大きな混乱が生じます。そのため、耐震性の強い、又、被害に強い下水道を作ることが重要だと思います。今の技術によれば、開発出来るのではないのでしょうか。

また、台風等大雨による雨水に対する下水道はどうすれば良いか、台風で大雨が降る如に、雨水による下水道の問題が発生しております。出来れば、この大雨による雨水に対する下水道は別に考えることが重要だと思います。

(意見5)

公共下水と密接に関係しているハザードマップにあるように市民より強い要望がある浸水対策、その改善についてももう少し記載する必要があるのではと思う。

公共下水、合流式といっても、雨水も一体であり、密接不可分あると思うので、雨水の浸透遊水池、貯留管（槽）、水路、河川を含め、維持管理計画を見直したらと思います。

(市の考え方)

本計画は、これまで整備してきた下水道施設を適切に維持管理し、下水道サービスを維持するための計画となっており、災害による被害状況を考慮した上で、改築や修繕といった維持管理実施の優先順位を設定したものです。ご意見をいただいたような地震対策や浸水対策については、平成23年3月に策定した「茅ヶ崎市下水道整備計画」に基づき、実施しております。

(意見6)

このたびの公共下水道施設維持管理計画が、その布設整備のほか機械装置や設置導管などの限りある寿命更新管理への世紀を跨ぐ展望を示されたことに正直驚いて拝見しました。

兼ねてから、「日本のふるさと文化」がまち中に水路を巡らせ、大気を潤した資産としてきたことに思いを馳せつつ意見をいたします。

私たち茅ヶ崎のまちは、湘南の海に面し、相模川、小出川などの自然な水と大気に恵まれ、田畑を潤した雨水路が縦横に巡っており、私の住む萩園のマンションもその雨水溝の側にあつて、紫陽花で彩り、大雨時の浸水を防ぐ安心の庭でありましたが、只今現在は、下水管を埋め込みの工事中であり、またアルバック裏の下水溝も埋立工事中であります。私は兼ねてから都市化に向けてのインフラ整備にはこれらの雨水溝空間を活用して、開放面のままに、或いは、暗渠にすることがあつても電線、通信線、ガス、水道など管路の設置に適した宝物であり、その活用策の構想づくりを願っておりましたが、今や下水道改修の為、埋没されることに残念の思いで眺めております。

茅ヶ崎市では、一方では合流式下水道域を普及させるなど、都市域に対応した事業を実施して頂いていることでもあり、茅ヶ崎の未来のまち環境に相応しい下水雨水路網を構築されますよう念願致します。

(市の考え方)

本計画は、これまで整備してきた下水道施設を適切に維持管理し、下水道サービスを維持するための計画であり、ご意見をいただいたような、新たな整備や既存施設の改修に関しては、「豊かな水環境と安全・安心なまちづくりに貢献する下水道をめざして」を基本理念とした「茅ヶ崎市下水道整備方針」を基に、その基本理念の実現に向け、実効性のある具体的な取り組みについて示した「茅ヶ崎市下水道整備計画」に基づき、地元自治会等とも相談しながら、実施しております。

(意見7)

茅ヶ崎市の人口は現在 24 万人です。今後の人口の増加は、10 年先、20 年先、30 年先は計画でいかがとされていますか。(回答を)

この対応等に、市民税等の必要経費は億円単位で、計画額等の回答予算額の書面等の回答を求めます。

(市の考え方)

本計画は、これまで整備してきた下水道施設を適切に維持管理し、下水道サービスを維持するための計画であり、将来にわたる人口増減は勘案しておりませんが、公共下水道の新たな設置に対しては、下水道法に従い事業計画を定めており、事業計画で将来行政人口を勘案しています。

また、本計画に示した事業費は、現時点での概算事業費となっており、具体的な予算額は、茅ヶ崎市総合計画における実施計画や予算書の中で示してまいります。

(意見8)

又、下水道にかかる費用の市民負担はできるだけ少額にして市民が平等に負担する様、考えないといけないと思います。

(市の考え方)

本計画は、「施設管理」＝「ストックマネジメント」の計画になりますが、市民の皆様の費用負担の検討を行うには、「施設管理(モノ)」に加え、「執行体制の確保(人)」、「経営管理(カネ)」を一体にとらえたアセットマネジメントの考え方を導入した経営計画を策定し、中長期的な視点を踏まえながら継続して検討する必要がある、今後、本計画とは別に検討してまいります。

(意見9)

維持管理計画の策定に当り、何時広域下水、単独下水処理、分流式、合流式を比較検討し、そして景観や環境を考えながら策定したらと思います。

(市の考え方)

本市の公共下水道事業は昭和38年度(1963年度)に着手し、平成27年度(2015年度)末までに汚水管路の面整備率は約97.7%と、ほぼ出来上がっている状態にあり、雨水管路についても、既に410km(道路部局等、下水道事業以外で整備した管路も含む。)もの管路を整備しています。その中で、本計画は、これまで整備してきた下水道施設を適切に維持管理し、下水道サービスを維持するための計画であり、頂いたご意見は、貴重なご意見として参考にさせていただきます。

■茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画（素案）に記述された個別の内容に関する意見（2件）

□4. 維持管理方針の設定（1件）

（意見10）

P5、P6 3・・・方針の設定・・・目標・・・課題で・・・課題①・・・量が膨大、課題②・・・に限りがある、課題③・・・未着手 とありますが、維持管理方針の内容を含め、表現を変更する必要がないでしょうか。

目標を全否定している表現にも感じますし、当初計画から解っていること。財源があってもなくても限りがある、未着手なのは計画してこなかったのですか？それともサボタージュだったのですか？と感じますし、これでは今までと現状はやる気がないとも感じます。

P1（1）・・・目的の項でも上記意見のようにも思います。

施設の延命化を図る「予防保全」の考え方を基本とすることは賛成ですが、膨大な下水道施設・・・軽微な段階で小規模な修繕とありますが、マネジメントの言葉だけで終わらせるのではなく、一行で具体的にどう取組むかを記す必要はないのでしょうか。・・・改善計画、・・・地震対策計画等々の説明や資料添付も必要ではと思う。

（市の考え方）

本市では、これまでも日常的な保守点検を実施するとともに、故障や不具合を発見した場合は速やかに対処してきました。

しかし、「長期間使用した施設の量が膨大」、「維持管理に投資できる財源には限りがある」、「予防保全の視点を取り入れた保守・点検計画には未着手」といった課題から、これまでの対処療法的な維持管理では、人員や財源を十分に確保できず、一時的な機能停止に陥ることが懸念されます。そこで、今後、計画的な維持管理を行い、施設の延命化や事業費の平準化を図ることで、良好な下水道サービスを維持することを目的に、本計画を策定することにしたものです。

なお、ご意見をいただいたような、下水道施設の地震対策等については、平成23年3月に策定した「茅ヶ崎市下水道整備計画」に基づき、実施しております。

□8. 事業計画に関する意見（1件）

（意見11）

素案にあります「雨水公費・汚水私費」の原則ももう一度検討する事が重要だと思います。

（市の考え方）

一般的に降雨は自然現象であり、浸水被害を軽減する効果は市民の皆様にも及ぶため、雨水を流すための費用については、税金（公費）で負担し、汚水をきれいにするための費用は、汚水を流した人に負担（私費）してもらおうという受益者負担の考え方に基づい

ています。本市においても、このような考え方にに基づき、雨水、汚水それぞれについて、市民の皆様に平等に負担していただくような考え方としております。

■パブリックコメントに関する意見（1件）

（意見12）

当パブリックコメントの説明会は実施しないのですか？当市議会でも当市より回答があったと思います。

当計画に当り、説明会がないと、その旨も含めよく理解できないところもありますし、実施すればパブコメの啓発（PR）にもなるかと思えます。

当パブコメの概要版（コンパクトなもの）は作らないのですか？コンパクトなものを作成する回答が市からあったと聞きます。H28年4月前実施のパブコメも途中で配布したと聞きます。また、資料も十分周知されていないように思えます。

（市の考え方）

本計画を策定するにあたり、説明会は行っておりませんが、皆様の意見を反映する機会として、当パブリックコメントを行うとともに、一般公募の市民や学識経験者からなる下水道運営審議会に諮りました。

また、パブリックコメントの実施にあたっては、広くご理解をしていただくため計画の主な内容を取りまとめた概要版を作成し、配布用にするとともに、全体版を閲覧用として配布場所に設置させていただきました。

なお、パブリックコメントの周知に関しては、できる限り広く皆様にお知らせするため、広報紙や市公式ホームページ、市広報掲示板等様々な方法でパブリックコメントの周知を図っています。

今後、本計画を運用していくにあたり、社会情勢の変化や時代に応じた市民ニーズの変化を踏まえ、必要に応じて計画を見直すなど、皆様からのご意見の反映に努めてまいります。

■その他の意見（3件）

その他、次のような意見がありました。

（意見13）

下水道の破損を防ぎ市民の日常生活に害を与えないためには、保守点検等、維持管理をよくすることだと思います。

維持管理するのに素案にあります①安全の確保、②サービスレベルの確保、③ライフサイクルコストの低減は重要なことだと思います、また、素案にありますアクション、チェック、プラン、ドゥという7年サイクルで計画をするのも重要だと思います。

（意見14）

人間の死体も排水路溝に保存す。

広報・・・グレーチング又は側溝の中に公道清掃砂利を搬入し、流入、又ゴミを詰め込んでいる人も見かけます。このような行為をしないように広報も千ノ川ゴミ対策整備の完了・・・。だが、相変わらずゴミ、犬の大便が搬入されています。小出・駒寄川下流の小出川に集積し、山積み、ヘドロ化となっているところも、河川課と協力しあって、時には取り締まりの目を。大海にゴミを流出しないためにも、地域の監視員（アパートではない限り）・・・悪口、役所に通告しても対応せず、市内のゴミ屋敷と同じことですが、台風のような災害時、このゴミがさらに流木となり、もしでなく相模川河川大反乱時500万トン以上にもなります。

このゴミが、小出、駒寄川、千の川に・・・排水不良水没1ヶ月になる予測もできません。

第二次ゴミ屋敷のない街に PR のほど

- 1 木材・・・
- 2 チップ・・・機材、造園用
- 3 その他区分も

※熊本県のゴミ、川崎にて・・・大変驚きました。川崎地区の公害対策に一言・・・コンビナート（ゴミコンビナート）にならないこと、どこの行政でも引き受けがたい問題です。念のため。

下水道に・・・アスファルト砂利（削砂）年 m^2 約1 l ～2 l 最小程のものが流入しています。これより多いところ交通量（4～6 l 以上）道路清掃しているの結論です。側溝に流れて堆積した小砂利・参考までに頭の中に入れておいてください（ウイスキーボトル3～4杯分）

この砂利は、私の住宅式地内にて処分しています。

ビニール袋に入れて回収も考えたが、更に公害へと・・・最大の環境更生はここから始まります。

地区では落ち葉ゴミと一緒に処分している人がいますので、側溝の上のヘドロも回収のこと、このヘドロが排水不良をなし、私の家の前に草花が雨水に流された。公道に花芽を勝手に置いた育任は、無礼、社会人として最低なる。このため、市役所の職員に言

って直ちに回収することを申し入れ、改善をなす。同氏とのトラブルはしたくなくてもトラブリマス。

又、排水口からの植木鉢土を流し込む。これらの一無孝作行為は大災害にもなります。単にテーマソングだけのものではなく、河川敷に残材、畑に残材・・・ゴミの不法投棄、排水口孔の目詰まりにもなり、市職員もこの点に眼中に入れてパトロールのこと。

過日、マンホールの中に工事用グリ石詰め込み入札まく者。

入札取り消しましたか・・・行政Gメン・・・

環境部の入決組織では絶対不可です。汚いものに手をつけない文句100連発

下水道設備の維持の題目は可としても、それまでに至る間の取締りはしていますか。

源流・・・グレーチング、排水、雨水、汚水、無許可接続、この場所へ。100km～500kmの区間、Gメン（ポリスメンも）この行為（無許可接続）を何意ともせず、水口との変化をかい間見ます。芸能人ポリスメンだから相模原の殺人事件も各保2名削除しても、このGメンが事件を持ちます。刑事Gメンと同じこと、事件を扱えば当案は2016/8/4の会議ではなく、押し付けGメンは不要です。答弁者の話を聞きますか市長へ

(意見15)

海への排水路等にも県が関係しているなら、強い要望し、改善してもらいたい。